

# 企業研究

学生×経営者



2020

1

「Q・B・B」ブランドで知られる家庭用プロセスチーズの最大手。棒状の「スティックチーズ」や、1枚ずつ包装したスライスチーズを開発するなど、市場に革新を起こしてきた。次の時代に向けた挑戦について、塚本浩康副社長に話を聞いた。

—どんな歴史がありますか。

「社名に『バター』とありますが、実際に作ったり売ったりしたことは、実は一度もありません。マーガリンのメーカーとして創業し、当時マーガリンが『人

六甲バター(神戸市中央区)

塚本浩康副社長(44)

## プロセスチーズ世界一へ



●経営課題や今後の戦略について語る六甲バターの塚本浩康副社長。いずれも神戸市中央区坂口通1丁目種類が豊富で女性に人気のチーズデザート



造バター』と呼ばれていたことから、1954年に現在の社名に改めました。今は、売り上げの95%がチーズで、ほかにチョコレートやナッツも販売していま

「課題は。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛で、ピザ用チーズや主力のベビースライスなど、家庭用商品

が大きく伸びましたが、売上げの約3割を占める業務用が落ち込みました。ホテルや居酒屋以外に、新しい販売先の開拓や、新商品の提案などが必要です。また、外食や食生活、健康などに対する考えにも変化が生じています。子育て世代やアクティブシニア層を中心に、需要を的確に捉えていかなければなりません」

—今後のビジョンは。

「チーズの原料である牛乳を巡っては、牛が出すメタンガスが地球温暖化を加速させる」として問題視されています。就職活動の参考に動きがあります。持続可能

「時代の変化のスピードが速まっています。自分での提案などが必要で、考えて行動できる人こそ、戦力になると思います」

—求める人材は。

「兵庫県の企業と大学生の就職マッチングを支援する「Mラボ」事業(県、神戸新聞社主催)の一環で、学生と企業がオンライン形式の対話を通じて各社の課題を抽出し、解決策を提示します。就職活動の参考に

な商品も考えるべきテーマでしょう。目標は『世界一のプロセスチーズメーカーになる』。これまで培ってきた知識や加工技術を生かしていききたいです」



(まとめ・中務庸子)

### メモ

1948年、前身の平和油脂工業が創業。社員427人。2019年12月期の売上高は539億4700万円。各種チーズを製造販売する。20年春採用が15人、21年春は9人を予定。神戸市中央区坂口通1の3の13。☎078・231・4681